

# Step UP!

2015年3月20日

発行責任者 佐久間 晃史

NO. 33 編集責任者 情 宣 部

## 15春闘

# 本日回答指定日!!

今、15春闘は2月18日に中央本部は申し入れを行い、ベースアップ6000円を掲げてたたかいを作りだして本日3月20日に回答指定日を迎えました。会社は未だにベースアップを実施しないとする頑なな姿勢をとっています。私たちは、これまで15年間ベースアップがされない中で、様々な値上げに伴う支出の増加により生活は厳しさを増しています。一方、会社は経営の危機に直面する度に、コスト削減を行い期末手当の抑制や福利厚生の廃止を行い私たちだけにその責任を押し付けてきています。

## 失望感、悲壮感しかない現実

更に会社経営陣は社員や鉄道事業規模が縮小する中でも現状維持を貫き、これまでの経営責任は一切負っていません。この経営体質は、今年3月私たちに痛みを伴う諸手当の廃止を行ったにも関わらず、会社経営陣は血も汗も流す考えはないとする姿勢に露骨に現れています。この様な社員だけに犠牲を強いる経営陣の下で夢をもって働いていけるわけがない!!

現に、会社に失望し退職していく青年部員は後を絶たない!!職場で働く青年部員は働き度が上がりながらも、所得水準が減少していく中で必死に仕事をして、ギリギリの生活をしている。

会社経営陣はこの苦勞に報いるならば、世間相場であるベースアップで応えろ!!

## 経営陣はまだ気付かないのか!?

JR貨物で働く青年部員のみなさん、将来の生活を少しでも良くするために今職場から声をあげ、鈍感な会社経営陣に現場の苦勞、努力、現実を分からせるためにも最後までたたかおう!!

日々の業務で忙しい中での常駐、そして本部への激励、ありがとうございます!!

# 青年部は最後まで ベースアップにこだわる!!